（様式1）

学校番号	24	学校名	茨城県立勝田工業高等学校

令和8年度道徳教育全体計画

諸法規

・日本国憲法
・教育基本法
・教育諸法規
・学習指導要領

校訓

「正しい判断」「強い意志」「清い生き方」

学校の教育目標

教育活動全体を通して、心身ともに健康で豊かな人間性を備えた生徒の育成を図る。また、ものづくり教育を通して、グローバルな視点を持ち対応できる創造力を備え、地域や産業社会に誇りと愛着を持ち貢献できる生徒、自らの将来像を明確にイメージし、その実現のために具体的に行動できる生徒の育成を目指す。

生徒の実態

・挨拶が大変よくできる。
・指導に素直に応じることができる。
・部活動が活発である。
・地元への就職希望者が多く、就職率も高い。
・学校行事等にとても熱心に取り組むことができる。

保護者の願い

・社会人になるための基礎知識や一般常識、挨拶、礼儀作法等の習得。

道徳教育重点目標

・自ら課題を見つけ、自ら行動できる態度の育成に努める。
・安全で安心な学校生活を実現するとともに、他人を思いやる豊かな心の育成に努める。
・基本的生活習慣を確立させ、規範意識の醸成と問題行動の未然防止を図る。

地域の実態

・日立製作所と関連企業の工場が多く、工業高校生に対しての期待が大きい。
・本校生に対して、地域住民は好意的である。

各教科・科目

国語	国語常識を身に付けさせ、その研鑽に努める。
地歴	日本や世界の歴史や生活・文化についての理解と認識を深める。
数学	現代の社会について、広い視野で主体的に考える力をつけ、自らの生き方についての自覚を育てる。
理科	数学における基本的な概念や法則の理解を深め、数学的な思考・判断を身に付けさせる。
保体	自然に対する関心を深め、大切にする心を育てる。
芸術	生涯を通して健康な生活を送ることができる能力を育てる。
外国語	美的体験を豊かにし、芸術を愛好する心情を養う。
家庭	コミュニケーション能力を高め、異文化理解を深める。
情報	家庭生活が充実向上をはかれる能力と実践的な態度を育てる。
総合的な探究の時間	多様化する情報技術の活用について知識・理解を深める。
専門	【工業】ものづくりの基本を学び、実践的な態度を育てる。

特別活動

ホームルーム活動

・本校の校訓である「正しい判断」・「強い意志」・「清い生き方」に自覚と誇りを持ち、将来積極的に地域社会に貢献できる人間を目指す。

・インターンシップをはじめとする学校行事を通し社会の規範を学ぶとともに将来にわたってよりよく生きるために、高校時代に何をすべきかを考え行動できるように指導する。

公民科

公共

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力が身につくように指導する。（思考・判断・表現より）

生徒指導

・基本的生活習慣と規範意識を確立させる。
・保護者との連携を密にする。
・学校教育全体を通して道徳教育を推進する。
・服装容儀等における規範意識の向上を図る。

家庭との連携

・家庭は社会との交流を密にし、協力体制を整える。
・家庭と学校が互いの教育機能を理解し、信頼し合う体制を構築する。

地域社会との連携

・地域企業でのインターンシップ活動などを通して職業観・倫理観や社会性を育成する。
・大学や専門学校との連携を通して、専門的な技術の習得をする。